

ご愛用者様の

お声

ご愛用歴
2年以上

今までこれに敵うものは なかった。Sシャンプーで 髪質まで変わりました!

福岡県在住 **立花様** 50代

プールに通っているせいで、髪の毛がバサバサになってしまつて、それがずっと悩みでした。「これはプールをやめるしかないな」と諦めなくてはいけないぐらいバサバサだったんです。美容室も何箇所もあつて、シャンプーやトリートメントを色々取り寄せたりもしましたが、なかなか良いものに出会えずでした。「プールには行きたい!でも髪の毛は爆弾が落ちたみたいにバサバサになってしまつて。これはどうしようか...」と。そんな時にたまたまプールのお風呂で出会った美容室の先生に「これ使ってみます?」って、いただいたのがSシャンプーでした。

使ってみたら1回使っただけなのに全然違つたんです!しっとりというかツヤというか、指通りも軽くて、バサバサしていた髪がバサバサじゃなくなったんです。「これ何ですか?」ってすごい衝撃でした。とにかく髪の毛はなかったですね。私はもともとくせ毛で髪質も良いタイプではなかったのですが、シャンプーにはできないなど、ずっと諦めていたんです。でもSシャンプーと

Sシリーズシャンプーの果実の力 天然果実の潤いが髪にツヤを!!

Sシリーズシャンプーには果実の中でも、特に水分量が高い果実の果汁をセレクトしました。またその他にも、紅茶エキス・リンゴエキスなどを配合。毛髪の保湿性を高めると共に、キューティクルを引き締める効果も期待できます。



※シャンプーそのまますりこむわけにはありません。果汁から潤い成分を抽出し配合しています。

他にはない香りのバリエーション!! 香りのラインナップが豊富!!



S-2/S-22...グレープフルーツ S-30...はちみつ
S-3/S-23...さくら S-31...ローズ
S-24...紅茶 S-32...コリアンダー
S-26...ピーチ S-33...ローズウッド
S-27...ハーブミックス S-34...サンダルウッド
S-28...石鹸 S-35...カリビアン
S-29...グリーンアップル

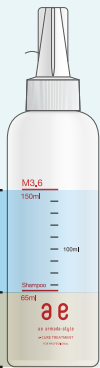
※他にもシトラス系の香りのオリンピックシャンプーもございます。

M3.6と混ぜて使うことで 水分を髪内部に補給!!

髪の毛のダメージの度合いでM3.6とシャンプーの混合比率を変えることをおすすめします。

M3.6

Sシリーズシャンプー



M3・6と混ぜて使うと 自然なツヤが生まれる

Sシリーズシャンプーは電子トリートメントM3・6と混合することで髪の内部に水分が補給されます。そして配合されている天然由来成分の働きでキューティクルが補修され、髪に自然なツヤが生まれます。洗いがりがしっとりし、ずっと触っていたくなるふわふわな仕上がりが実現します。

☑髪に潤いを ☑髪にツヤを ☑ノンシリコン

髪に潤いを与える天然由来のロングセラー

Sシリーズシャンプー

天然由来の働きで髪が
やさしく潤う。
M3・6と混ぜると髪に
自然なツヤが生まれます。

ピーチやローズの香りなど
香りのバリエーションも豊富

Sシリーズシャンプー

300mL 価格 3,080円

1000mL 価格 8,140円

適量を手にとり、濡れた頭皮になじませ泡立てながら普段通り洗髪してください。M3.6と混ぜてお使いいただくトリートメント効果があります。

天然由来成分が髪本来の力を最大限に引き出すことで、健康的なツヤのある髪を保つ、美容室専売品のシャンプーです。

天然由来の界面活性剤を 配合したシャンプー

Sシリーズシャンプーは髪をキレイに見せるだけのシャンプートリートメントとは一線を画します。髪を一時的にサラサラさせたり、ツヤを出したり、その場しのぎのケアではなく、髪本来が持つ「髪を健康に保つ力」を引き出し、髪を根本からキレイにするためのシャンプーです。

そのため化学反応によって作られるシリコンの不使用を徹底しています。シリコンは髪に膜を張り、髪をキレイに見えますが、その膜が髪本来の「髪をキレイにしようとする力」を阻害し、髪の状態を知らず知らずのうちに悪化させてしまっています。近年、シリコンは良くないという考えは認知されていますが、まだ巷にシリコン商品が溢れかえっていた頃から弊社は貫いてノンシリコンを推奨してきました。

また汚れを落とす成分「界面活性剤」も天然由来のものを採用。合成された石油系の合成界面活性剤などは高い洗浄力はあるても髪表面のキューティクルを剥がしてしまったり、肌に残ることで皮膚を傷つけ、乾燥肌などのトラブルを引き起こすためです。自然界に存在する天然由来の界面活性剤を採用している分、Sシリーズシャンプーは泡立ちこそ劣りますが、髪にも肌にもやさしい配合になっています。髪への吸着性、保湿性など本当にシャンプーに必要なと思われる成分だけを厳選し、1つ1つの配合率を高くすることにも成功。特に髪の状態を整えるために必要な「保湿」にこだわり、髪に水分を与えること、また逃がさないことを突きつめたシャンプーなのです。